

# うらおそい歴史新聞



第32号

## 浦添グスク周辺の仲間集落を歩いてみよう！

浦添グスクの隣にある仲間集落は、「浦添の中の浦添」といわれています。今なお残る集落の史跡や拝所などの文化財を歴史ガイドと一緒に散策してみませんか？

●日時 平成28年9月25日(日)

9時半受付 10時出発

※雨天の場合は中止です

●おもなガイドポイント

仲間あさと原の印部土手・アトウ  
ガー・根殿内・ノロ殿内・仲間樋  
川・仲間テイヤ・クバサーヌ御  
嶽・龍福寺跡・番所跡

●募集人数 50名(小学生以上対象・小学生は大人の同伴が必要です)

●参加料 300円

●募集期間

平成28年8月20日(土)～

9月20日(火)まで

●申込み 「浦添グスク・ようどれ館」

電話 098-874-9345

※月曜日は休館のため受付できません

## 《特集・城間(ぐすくま)》

### 字城間松明大綱引の由来について

戦前城間の綱引きは旧暦6月25日に集落の中道で行われました。

綱ひきの目的は五穀豊穡、村の発展を祈願する行事として御願所やノロ殿内を村の役員が拝しました。

又吉村を継ぐ前村渠(メンダカリ)は雌綱で地域は、「3, 7, 8, 9, 10」番組、綱を打つ場所は松又埼の広場で青年たちを中心に行われました。

城間村を継ぐ後村渠(シンダカリ)は雄綱で地域は「1, 2, 4, 5, 6」番組、綱を打つ場所はウスクヌーの池の周辺で青年たちを中心に行われました。



【城間松明大綱引】

綱引きの綱は、糸満市真栄里から購入し、補修をして使用しています。又綱引きの拝みには、公民館敷地内の拝所で自治会長をはじめ綱引き保存会の役員の方々が拝しています。綱の長さが全長80m、重さが約6tです。今年で第25回目を迎えます。

城間の綱は太い綱であったようで那覇や、宜野湾をはじめ近隣の集落からも参加者が多かったそうです。綱は部落の中道で引いたそうですが、道ジュネーには旗、鉦鼓、パーランクーや大太鼓を打ち鳴らし、ほら貝を吹きながら綱引き歌を歌ってはやしたて、松明(テービー)を振り回しながらガーエーし氣勢をあげ、会場では双方の青年たちが入り乱れて城間メーカタを舞ってその強さを競い合っただけです。

女性たちは実家の方の綱を引く習わしで嫁ぎ先の綱は引かなかったそうです。

テービーを持つ人々は、綱を引かずに見学している参加者に力を貸してほしいとのことでテービーを差し向けて勝負に参加させていたそうです。

しかしながら戦争末期の昭和19年には綱引きは途絶えました。平成4年には、サンパーク通り会と自治会に於いて復活し平成9年には自治会主催の第1回大綱ひきが9月27日実施されました。

現在は、公民館を中心に前と後で区分けを行い、旗頭のサンマーニに松又埼や、ウスクガジュマルの絵が描かれております。趣向を凝らして支度には「阿麻和利」と「護佐丸」が登場し、女性部によるガーエーやミシゲエー・寿会による集団群舞など地域組織を挙げての祭りです。  
(古波蔵)

## 城間のおもろについて

城間の泉公園に「おもろ」の碑が1基設置されています。浦添のおもろは巻15に掲載されており1623年に編集されています。おもろさうしの中には城間に関するおもろが四首掲載されています。泉公園に設置されている一首は次のとおりです。

一 ぐすくまの あさいによ

あさいによ ひろみやに

おれなおせ

かみた かみ

又 またよしの あさいによ

城間、又吉の長老様がいらっしやる広庭に、神女たちよ天降りして祭りをしなさい。というおもろです。古琉球のムラには男性の長老がおり、神々に祈る役割は神女たちが受け持っていました。神祭りをする広庭で、神女たちが祭りをする様子を謡っています。  
(古波蔵)



【城間泉小公園のおもろの碑】

又吉は、城間の隣にあったとみられる古いムラの名前です。詳細は、浦添市教育委員会刊行の『「うらおそいのおもろ」の散歩道』を参照。浦添には城間以外にも9ヶ所のおもろの碑があります。

## ○浦添グスク・ようどれ館

国指定史跡「浦添城跡」のガイダンス施設です。浦添グスクと浦添ようどれの発掘調査での出土品や戦前の写真パネルなどを展示しています。

【開館時間】午前9時～午後5時  
【入館料】

大人（高校生以上） 1000円  
小人（小中学生） 500円

※市内小・中学生は無料  
【休館日】

月曜日（祝日は開館）・年末年始

【住所】〒901-2103

沖縄県浦添市仲間2-53-1

【電話】098-874-9345

【アクセス】

琉球バス交通 牧港線（55番）  
仲間バス停から徒歩5分



【浦添グスク・ようどれ館】

浦添ようどれ墓室（西室）の原寸大の模型がみどころ。館内は、NPO法人うらおそい歴史ガイドが展示の解説も担当します。駐車場も完備しています（大型バスも対応可）。

## ○浦添大公園南エントランス展示コーナー

浦添グスクの南側入口にある県営公園の施設です。浦添グスクの模型のほか、グスクを紹介するパネルや出土品のレプリカを展示しています。入場無料ですので、お気軽にお訪ね下さい。

【開館時間】午前9時～午後5時

【入館料】無料

【休館日】

月曜日（祝日は開館）・年末年始

【住所】〒901-2103

沖縄県浦添市仲間2-53

【電話】098-876-3555

【アクセス】

琉球バス交通 56系統  
浦添小学校前バス停から徒歩5分



【浦添大公園南エントランス展示コーナー】

施設の中には「うらおそい歴史ガイド」が解説員としていますので、解説をご希望の方は気軽に声をかけてください。駐車場も完備しています（バス対応可）。

## ○浦添市歴史にふれる館

浦添の遺跡の出土品や民具を収蔵・展示している施設です。展示室では、縄文時代の土器から、戦前まで実際に使われていた道具などを展示しており、浦添の歴史を学習することができます。

【開館時間】午前9時30分～午後5時  
（入館は16時30分まで）

【入館料】無料

【休館日】土日・祝祭日（慰霊の日）・年末年始

【住所】〒901-2134

沖縄県浦添市港川5-12-11

【電話】098-876-1234

内線（6216・6217）

文化課文化財係まで

【アクセス】

琉球バス交通 20系統他  
第一牧港バス停から徒歩15分



【浦添市歴史にふれる館（やかた）】

平成28年2月にオープンした文化財の収蔵展示施設。収蔵室の一部も公開しています。駐車場も完備しています。

## ○うらおそい歴史ガイド ツアー随時受付中です！

浦添グスクをはじめとした、市内の史跡や歴史スポットを有料でガイドします。

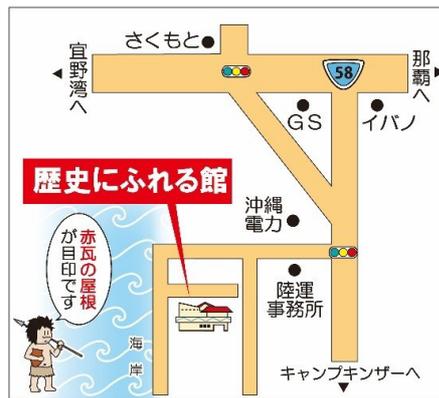
料金 1名当り（20名程度まで）

1時間 1,500円 / 2時間 3,500円

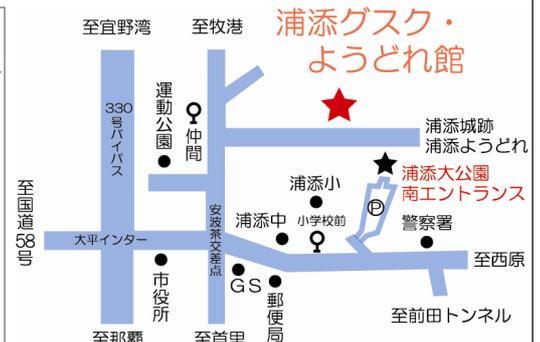
※県外の方は半額の助成があります

団体でのご利用や、コースや時間などは相談に致します。お気軽にご相談下さい。

申込先 浦添グスク・ようどれ館  
電話 098-874-9345



浦添市歴史にふれる館の地図



浦添グスク・ようどれ館と浦添大公園南エントランス展示コーナーの地図